

# Q&A 市議会議員が、市政に問う!!



Q. 議員が行う一般質問って何ですか？

A. 一般質問とは、議員が本会議場で行政事務や市の方針などについて、質問し説明を求めるものです。本市では、会派で行う代表質問（90分）と、個人質問（60分）があります。

内容は、各議員からの原稿をそのまま掲載しています。

詳細な会議録などは、Webで

大網白里市議会

検索

## 用語の解説

一般質問記事内に出てくるキーワードを詳しく解説

★マークが目印

▼スマート  
インターチェンジ

小中地区の圏央道に現在建設中のインターチェンジ。ETC車のみで限定される。正式名称は「大網白里スマートインターチェンジ」。平成30年度中の供用開始を目指す。

▼アンダーパス

白里海岸沿いの通称波乗り道路の下に設置した道のこと。

人や車が、海岸へ出られるようになっていく。

▼戸別受信機

防災行政無線の音声を室内で聞くことができる装置のこと。

市役所の安全対策課へ、負担金1万円とともに申し込み、自宅に設置できる。

▼新オレンジプラン

厚生労働省が策定した、認知症施策についての計画。認知症の人が、自分らしく暮らし続けられる社会を目指している。

▼風疹（ふうしん）

発熱、発疹などを特徴とするウイルス性発疹症。免疫のない女性が妊娠初期に罹患すると、胎児に先天性風疹症候群と呼ばれる障がいを起こすことがある。

会派代表質問

## 市の公共施設をどの様に運用し、住みよいまちづくりを目指すのか

創 政

森 建二 議員



行政の「経営」がキーワードになりつつあります。市は財政が厳しい中でも公共施設の再編、合理化、ふるさと納税の活用、市街地の賑わい醸成、公共交通の運行効率を上げるなど経営感覚が求められます。今後

も失敗を恐れず、小さくても特色のある強い自治体を目指しましょう。

○公共施設のマネジメントについて  
今後の人口減少により、市の財政も益々厳しくなります。昨年策定された「大網白里市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設マネジメントの考え方を伺います。

答 市の資産の状況を把握・分析し、維持更新費用の見込みを明らかにしつつ、総合的かつ計画的な管理を推進するための基本方針として、大網白里市公共施設等総合管理計画を平成29年3月に策定しました。これにより、市の保有資産の現況は、築30年を超える公共施設が全体の3割強

であり10年後には7割、20年後には8割と、今後急速に老朽化が進む事が明らかとなりました。またこれらを今後50年間維持するためには400億円以上の費用が必要です。

一方、少子化により生産年齢人口は30年後には半減すると予測され、歳入も減少、このまま全ての公共施設を保有しますと財政破綻を招く要因となる事が指摘されております。

この事から市では公共施設の管理の基本方針として、①公共施設の総量の削減、②建物維持管理費の削減

③効率的・効果的な管理運営の3つの方針を掲げました。特に総量の削減については30%の削減を目標とします。既に市営住宅や幼稚園、保育園のあり方など施設整備の検討を始めていますが、今後は施設の稼働率

や利用状況の検証を踏まえ、長寿命化や統廃合など施設ごとの整備方針を定めた個別施設計画を平成32年度までに策定し、計画的なマネジメントを推進します。

問 市の公共施設等にかかる、年間の「ランニングコスト」は幾らか。

答 道路や排水路等のインフラも含めた1年間の維持管理費は、約15億円です。代表的な例として大網白里アリーナが約8千万円、小学校7校が約3億円、中学校3校が約1億円、また道路については約3億円です。

問 我々市民の理解も必要ですね。今後の研究をお願いします。次に市役所庁舎。先日、耐震強度上は向こう20〜30年使用可能と聞いたが、改修と建て替え、それぞれ費用は。

答 長寿命化改修につきましては約5億5千万円、新庁舎を建設した場合は約28億円の経費が見込まれます。設計費や仮庁舎の経費は含まれません。さらに、移転となりますと用地取得経費が必要。現在の財政状況では改修の方向とありますが、検討を経て年度内には方向性を示します。



公共施設のコストも考えて

その他、○防災・減災政策ハザードマップやホームページ、○移住、定住政策について質問しました。

## 関連質問

小金井勉 議員



問 小中池公園の整備について。

平成30年7月に小中池公園再整備構想が策定されたことですが、今後の基本計画の進捗状況について伺います。

答 現在、この基本構想に沿って、公園のゾーニング、設置する主要施設、整備後の管理運営方法などの整備方針や配置計画を定める基本計画を策定するため、外部委託を行わず職員による検討作業に着手したところです。

問 市長は小中池公園再整備に関してどのようなお考えをお持ちなのか、伺います。

答 厳しい財政状況の中、計画策定後、直ちに公園の再整備に着手することはなかなか難しい面もありますが、国や県の財政支援なども得られるよう工夫をしながら、計画的かつ着実な再整備に努めてまいりたいと考えております。

他に、金谷川改修事業について質問いたしました。この事業については継続的に事業が進むよう、今後とも早期完成に向けて、要望しました。

## 関連質問

田辺正弘 議員



問 大網駅南地区市街地整備について、「駅前広場」とアクセス道路の方針案を伺います。

答 「駅前広場」は、現在の改札通路に近接する位置に配置し、「アクセス道路」は、駅へのアクセスや沿道の土地利用に効果が期待できる。横軸と縦軸のT字型の形状で、三方から駅へアクセスする位置に配置する考えを示したところです。

問 地区計画の手法はどうか。

答 さまざまな手法がありますが、地権者をはじめ関係者の皆様のご意向を総合的に勘案しながら、進めてまいります。

問 ★スマートインターチェンジの開通に伴う県事業である大網街道、小中川、山田台大網白里線の整備と連携しながら進めてもらいたい。

答 東側と南側を主要地方道に囲まれ、地区内は二級河川小中川が縦断していますことから、市街地整備の推進にあたり、千葉県と情報を共有し、緊密に協議調整を図りながら、大網駅南地区のまちづくりに反映する基盤整備を促進してまいります。

## 関連質問

北田宏彦 議員



問 立地適正化計画をはじめとする誘導策と都市計画法に基づく土地利用規制や開発許可を一体的に運用してまちづくりを進めていくことが求められている。立地適正化計画の策定に取り組まれてはいるかが。

答 本市の実情に合った立地適正化計画の活用について、他市町の事例を参考に研究してまいりたい。

駅南地区のまちづくりの手法としては、区画整理、UR機構の活用、民間テレポートパーの活用、街路整備事業なども考えられるが、何よりも地権者、関係者としてしっかり合意形成を図ることが大事。駅南地区の勉強会を協議会に格上げして進めていく事を提案する。

問 金谷川改修事業は未買収の用地があり2名の方の理解を頂けていない状況にある。用地買収交渉いかに事業計画の見直し、また補助事業の取り消し等も危惧されるが。

答 交渉の中で財政負担や期間を含めた経済合理性の観点から先行取得により事業を進めたい、今後議会にもお諮りした上で考えたい。